

教科シラバス（国語科）

科目名	言語文化	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	2	必履修	一斉・少人数制
使用教科書・副教材・準備物					
新編 言語文化（東京書籍）					
科目の概要			学習目標		
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。我が国の言語文化に対する理解を深め、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育てる。</p>			<ol style="list-style-type: none"> 1 我が国の言語文化に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解し、表現技法やその効果を学び、古典と現代の言葉のつながりについて考えを深める。 2 様々な言語活動を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養う。 		
年間学習プログラム					
	学習内容	学習のねらい			
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文入門・物語 ・随筆 ・漢文入門 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文と現代文との違いを知り、古文の世界に親しむ。 ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方や感じ方、考え方を深める。 ・漢文の特色を知って決まりを理解し、漢文の世界に親しむ。 			
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆 ・小説 ・漢詩 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の表現に慣れ、作品に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。 ・描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。 ・漢詩に詠まれた情景や作者の心情を読み取る。 			
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・物語 ・史話 ・小説 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。 ・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わう。 ・読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。 			
評価の観点及び内容					
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通してその特質を理解し、適切に使うことができているか。				
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。				
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉感覚を磨こうとしたり、言葉を効果的に使おうとしているか。				
評価方法及びその他留意事項					
定期考查を主として、各種テスト、学習態度、課題等の提出状況を点数化し、上記3つの観点から総合的に評価する。なお、提出物は期限厳守で確実にし、授業には積極的に参加すること。					